

令和5年度 第3回 松江市生活環境保全審議会

1 日時 令和5年6月27日(火) 10:00~12:00

2 場所 松江市市民活動センター 201・202 研修室

3 出席者

(1)委員 7名

赤川楊桜子委員、岡崎泰幸委員、桑原正樹委員、佐藤尚士委員、藤原人美委員、
松浦俊彦委員、松本一郎委員

欠席者 3名

安部吉輝委員、河原和美委員、加原征子委員

(2)事務局 5名

余村環境エネルギー一部次長、石倉環境政策係長、石原副主任、福間行政専門員

4 次第

(1)開会

(2)環境エネルギー一部次長あいさつ・委嘱状交付

(3)議事

- ① 地球温暖化対策実行計画の事務事業編について
- ② 地球温暖化対策実行計画の区域施策編について

(4)閉会

5 会議経過 別記のとおり

6 事務局 松江市環境エネルギー一部環境エネルギー課

(1) 開会

○石倉環境政策係長

ただいまより、令和5年度第3回松江市生活環境保全審議会を開催します。

本日、議事に入るまでの進行役を務めさせていただきます環境エネルギー課の石倉でございます。よろしくお願いいたします。

会議に入る前に委員名簿の訂正をさせていただきたいと思っております。岡崎泰幸委員の所属が松江工業高等専門学校講師となっておりますが、正しくは准教授でございますので訂正をお願いいたします。大変、失礼しました。

この審議会は、松江市情報公開条例及び審議会等の公開に関する要綱の規定により、すべて公開にて行います。また、会議録を作成するために録音機を使用させていただきますことをご承知おきください。

なお、議事整理及び録音の都合上、ご発言の際は挙手をいただき、マイクを使用してお話くださいようお願いいたします。

本日の会議は、概ね12時を終了予定時刻としています。円滑な進行にご協力をお願いいたします。

それでは開会にあたり、余村環境エネルギー一部次長よりご挨拶を申し上げます。

(2) 環境エネルギー一部次長あいさつ・委嘱状交付

○余村環境エネルギー一部次長

環境エネルギー部の余村です。本来ですと、環境エネルギー部長の花形からご挨拶するところですが、本日は、本会議の一般質問があり、私が代わりにご挨拶させていただきます。挨拶の時間をいただきまして、今後の審議会スケジュールの話させていただきます。4月12日に開催いたしました第1回の審議会におきまして、計画の策定に向けて全部で4回、審議会を開催する予定であるとお話させていただいております。ここからが、変更のお願いになりますが、本日の第3回を含めまして、全5回の開催に変更させて頂きたいと思っております。理由についてですが、松江市は、4月から5月にかけて「脱炭素先行地域」、「SDGs 未来都市」に選定され、これらの内容を計画の中に盛り込みたいと思っております。そこで、パブリックコメントを行う前に、もう1回審議会を開催させていただき、「脱炭素先行地域」、「SDGs 未来都市」についての内容を含めたもので審議していただければと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。また、事務事業編についても第3回で報告させていただくようにお伝えしていましたが、「脱炭素先行地域」の内容も含めた内容にするため、次回4回目の審議会でご報告させていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。スケジュールについての説明を挨拶に代えさせていただきました。

○石倉環境政策係長

続きまして、前回、前々回会議を欠席された委員に委嘱状を交付させていただきます。

当審議会の委員委嘱につきましては、本年2月1日の改選より2年間の任期となっております。

委員の皆さまにおかれましては、松江市の環境施策の推進にあたり、それぞれのご専門・ご見識から、多方面よりご意見、ご審議くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、交付につきましては、本来ならば手交させていただくところではございますが、会議時間短縮の観点から、それぞれの席上への配布に代えさせていただきましたので、ご了承ください。

また、お手元にお配りしております「委員名簿」により、皆様のご紹介に代えさせていただきます。大変略式により恐縮ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ここで会議の成立についてご報告いたします。当審議会の会議開催につきましては、「松江市の生活環境の保全に関する条例」第 27 条により委員の半数以上の出席が求められています。本日は、委員 10 名中 7 名がご出席ですので、会議の開催について成立いたしますことをご報告申し上げます。

ここから先の議事の進行につきましては、松本会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(3) 議事

○松本会長

皆さんおはようございます。議事に入る前に、今回、初めてご出席される岡崎委員から一言ご挨拶頂いてもよろしいでしょうか。

○岡崎委員

松江工業高等専門学校の岡崎と言います。専門は、環境とはあまり関係無いかもしれませんが、トンネル、土木工学です。よろしくお願いいたします。

○松本会長

ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

それでは、先ほど事務局よりご説明ありましたけれども、松江市が「SDGs 未来都市」に選定され、あわせて、「自治体 SDGs モデル事業」というものにも選定されています。全国でも 10 都市だけしか選定されないものでして、山陰地域で初めてになります。今回、私たちが議論している内容とリンクするもので、是非これらの内容も計画に含めたいということで、審議会を 1 回多く開催していこうというお話がありました。委員の皆さまにおかれましてはどうぞよろしくお願いいたします。

今回の会議では、事務局から説明がありますので、委員の私たちは説明に対して質問や意見を述べることとなります。ボリュームも多いので、円滑な議事進行にご協力いただきながら、活発なご議論をお願いいたします。

それでは、事務局より本日の会議資料の確認をお願いします。

○石倉環境政策係長

本日の資料について確認させていただきます。

- ・次第
- ・委員名簿
- ・資料 1 地球温暖化対策実行計画事務事業編(概要)
- ・資料 2-1 松江市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(素案)
- ・資料 2-2 各部門における削減効果
- ・資料 3 脱炭素先行地域
- ・資料 4 SDGs 未来都市

○松本会長

ありがとうございます。議題 1 に入る前に、先ほどお話しがあった「脱炭素先行地域」、「SDGs 未来都市」「自治体 SDGs モデル事業」についてご説明いただけますでしょうか。

○余村環境エネルギー一部次長

私の方から、資料 3、資料 4 の「脱炭素先行地域」、「SDGs 未来都市」「自治体 SDGs モデル事業」について説明させていただきます。

<脱炭素先行地域について、資料 3 を用いて以下の項目を説明>

- ・第 3 回の公募でされ、県内では邑南町に次いで 2 例目。
- ・松江市を主たる提案者として、他 12 事業者・団体と共同で提案。
- ・観光を中心に据えた提案テーマとした。(カーボンニュートラル観光)
- ・4 つのエリア(松江城周辺・松江しんじ湖温泉周辺・玉造温泉・美保関町)を設定し、太陽光パネルや蓄電池の設置などを先行して取り組みを進める。国からの補助額の上限は 50 億円

<SDGs 未来都市・自治体 SDGs モデル事業について、資料 4 を用いて以下の項目を説明>

- ・SDGs 未来都市は、SDGs に先導的な取り組みを行う都市を内閣府が選定。
- ・松江市は、県内で初めて選定された。
- ・自治体 SDGs モデル事業については、今年度、中国地方で唯一の選定。
- ・関係省庁や有識者による助言・情報発信などを受けながら取り組みを進める。

○松本会長

ありがとうございました。事務局からご説明いただきましたが、何かご質問等ございませんでしょうか。

○佐藤副会長

脱炭素先行地域についてですが、国からの補助金が最大 50 億円とお話がありました。補助金が出る場合、用途が限定されることになると思いますが、この点についてご説明いただけますか。

○余村環境エネルギー部次長

まず、PPA 事業の費用として使うことができると考えています。つまり、蓄電池の設置、市有地への太陽光発電設備を設置費用などに使うことになると思います。他には、省エネに関する取り組みとして LED 照明へ切り替えに関する費用やグリーンスローモビリティの導入費用になると思います。

○松本会長

多くの費用がかかるものとして、まずは蓄電池でしょうか。色々な企業が技術開発に取り組んでおり、持続可能なサプライチェーンが必要になると思います。

また、補助額については、仮に 75 億円使った場合、最大で 3 分の 2 までが補助いただけるということで、上限 50 億円の補助ができるということでしょうか。

○余村環境エネルギー部次長

そうですね。

○松本会長

わかりました。ありがとうございます。

私からも少し補足させていただきます。「SDGs 未来都市」については、脱炭素あるいは環境というイメージが強いかもしれませんが、提案の際のテーマには観光を入れています。また、「脱炭素先行地域」のテーマにも観光が入っています。環境のことを考える際、他の分野である観光や福祉、経済、ジェンダーなどのことも考える必要があり、実際に山陰合同銀行には SDGs の部署がありますし、エネルギーでいうと、中国電力にはブルーカーボンに関する知見をお持ちの方もいらっしゃいますし、色々な面から進めていく必要があると思います。

また、「脱炭素先行地域」について一点質問させてください。昨年度、市の SDGs 推進課が作成した「中海振興ビジョン」との関係性はどのようになっていますでしょうか。例えば、ブルーカーボンに関していえば、本庄地区や島根半島側の地域との関わり方が重要になると思いますが、そのあたりいかがでしょうか。

○余村環境エネルギー部次長

「脱炭素先行地域」は第 3 回の公募で選定されましたが、実は、第 2 回の公募の際にも提案しておりましたが、その際は、エリアの設定をしていませんでした。第 3 回は、応募の際の条件として、取り組みを行うエリアの設定が必須となっていたことから、4 つのエリアを設定し、取り組みを

行います。一方で、4つのエリア以外で取り組みを行っても補助の対象にはなりません。SDGs 推進課が作成した「中海振興ビジョン」には、観光に関する記載もされていますので、そういった部分との連携は図りたいと思います。

○松本会長

私も聞いた話ですが、脱炭素先行地域にされた地域に交付金を出しても、どこにお金を使ったかわからないという意見が多く寄せられたようで、エリアを指定するような条件が含まれるようになったようです。なので、脱炭素先行地域の事業として行うのは難しいかもしれませんが、「中海振興ビジョン」で目指すゴールも踏まえつつ、オール松江市で取り組んでほしいなと思います。

○松浦委員

「SDGs 未来都市」「自治体 SDGs モデル事業」が選定されたということですが、これは今まで松江市が行ってきた取り組みが評価されたということなののでしょうか。それとも、総合計画などで書かれているような、松江市が未来に向かって行っていく取り組みの趣旨と選定基準が合致したということで選定されたのでしょうか。

○余村環境エネルギー一部次長

今後に向けた新たな取り組みも含めていますが、既存の取り組みについても含めて評価されているものと認識しています。

○松本会長

松浦委員の言われるとおりで、各自治体も SDGs に関する取り組みを行っており、それらを尊重しつつ、縦割りではなく、関連していないと思われるような、全てのことがつながっているという認識を持ってもらいたいと思っています。例えば、脱炭素を目指すことが観光や経済に活かされますし、それを大きく揺さぶるのが SDGs です。表現が正しいかはわかりませんが、「環境で儲ける」といったことも、「SDGs 未来都市」として全国に発信していきます。各自治体あるいは各部署が単独で行ってきたものを連携していくことが必要です。新しく、SDGs 推進課ができましたし、環境エネルギー一部と観光の部署が連携するようになりましたし、このような様々な連携が増えることで、総合計画で目指す内容と親和性が高くなっていくと思います。松浦委員の質問の回答としては、これまで松江市が取り組んできたことを継続して、観光やブルーカーボン、経済、ジェンダーなどにも力を入れていくような方向性になると思います。

少し長くなりましたが、議題もありますので、他にご意見があれば後ほどお伺いさせて頂ければと思います。それでは、議題 1「松江市地球温暖化対策実行計画の事務事業編」について事務局より説明をお願いします。

○余村環境エネルギー部次長

それでは、議題 1 について説明させていただきます。

<議題 1 について、資料 1 を用いて以下の項目を説明>

- ・前計画で掲げた排出削減目標は達成している状況。
- ・現在、対象施設の見直しを行っているところで、詳細の数値は再度精査中。
- ・国の削減目標と同じ 50% の削減を目指すための削減量・施策を検討中。

○松本会長

ありがとうございました。資料 1 で細かな数字が記載されていますが、対象施設なども含めて色々と精査されているところだと思います。前計画で設定していた目標については、達成している状況ですが、今後 2030 年に削減率 50% 達成するためにはどのように取り組むかということですね。ここまでの推移値や、削減必要量など様々な数字を算出していただいています。委員の皆さまからご意見等ありますでしょうか。

○佐藤副会長

資料の中の 2013 年度以降の推移状況を見ると、概ね排出量が減っているようですが、2030 年度に 50% の削減を達成するためには、このままのペースで進めれば良いのか、あるいは、より一層取り組みを強化して行うような荒療治の必要があるのか、どのような感じでしょうか。

○余村環境エネルギー部次長

難しい目標であると思っています。ただ、現在、排出量の約半分が電気の使用によるものになっており、まずは、電気使用量の削減が必要になると思っています。ちなみに、市役所本庁舎があるエリアも脱炭素先行地域の 4 つのエリアの 1 つの中に入っており、市役所本庁舎からの排出量をゼロにすることが 1 つのポイントになるものと考えています。また、今後の技術革新に期待している部分もあります。公共施設の照明も昔は蛍光灯でしたが、LED に代わってきており、電気の使用量が 60% 程度落ちており、技術革新も見込みながら 50% に向かっていきたいと思っています。

○松本会長

ありがとうございました。超えなければいけないハードルもありますが、削減に向けた手応えも感じているところなのかなと思います。どれくらいの照明が LED になったのかということもありませんし、技術革新も日々進歩し、多くの物の性能があがっており、技術革新も重要です。

○松浦委員

資料の中に、2013 年度以降の排出量の推移状況を記載した表があり、基準年度の 2013 年度

比の削減率が載っていますが、前年度からの削減率を載せても良いかなと思います。数字の見せ方の部分になりますが、毎年どれくらい減ったということがわかれば、あまり削減ができなかった次の年はもっと頑張らないといけないと思いますし、色々な見せ方があっても良いかなと思いました。2013年度と比較した数字と前年度との比較した数字を載せても良いかなと思いました。

○余村環境エネルギー部次長

ありがとうございます。事務事業編については、前年度と比較した数字についても載せようと思います。

○松本会長

とても大切な意見でしたね。また、委員の皆さんは、直近の2021年度の排出量が増えているのでこの点を気にしている方もいらっしゃるかと思います。何かわかっている原因などがありますか。

○余村環境エネルギー部次長

現在、数字の精査も含め原因を検証中です。前回の第2回審議会では、2021年度の数字は提示しておりませんが、最新のデータが揃い集計したところです。コロナが関係しているかもしれませんが、詳細は検証中です。

○松本会長

直近の排出量が増加しているということは、それだけ多くの削減を2030年度までにしないといけないので、増加理由の分析はお願いしたいところです。ただ、どこまでできるかというのはあるかもしれませんね。

事務事業編は、数値の精査中ということですので、次回改めてお伺いできればと思いますので、次の議題2「松江市地球温暖化対策実行計画の区域施策編」について事務局より説明をお願いします。

<議題2について、資料2-1(第1章部分)を用いて以下の項目を説明>

- ・前回までの審議会の内容などを踏まえて計画(素案)を作成。
- ・計画は、全4章で構成。
- ・第1章では、計画の基本事項である背景、目的、対象などを記載。

○松本会長

この審議会が初めての方もいらっしゃると思いますので、少し補足させてください。6ページの計画の位置づけの図の中に、「松江市総合計画(MATSUE DREAMS 2030)」の下に「松江市環境基

本計画」があります。さらに、環境やエネルギー部門に関する計画である、「松江市再生可能エネルギービジョン」や「松江市一般廃棄物処理基本計画」があり、これらのアクションプランというべき計画が今回審議している「松江市地球温暖化対策実行計画」となります。私たち委員の役割としては、それぞれの所属や見地から内容を審議していくこととなります。ご説明いただいた中で、第 1 章は、計画の意義や目的などの必要事項をまとめたページとなっています。本日、話の出た「脱炭素先行地域」や「SDGs 未来都市」についても触れられていますね。

事務局からの説明に対して、委員の皆さまからご意見がありますでしょうか。

<一同、意見なし>

意見がないようですので、次の項目に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。

<議題 2 について、資料 2-1(第 2 章部分)、資料 2-2 を用いて以下の項目を説明>

- ・第 2 章では、松江市の環境やエネルギーに関する情報やデータと排出量の状況・将来推計結果・削減目標値を記載。

○松本会長

ありがとうございました。今回の中心的な審議の一つですね。

委員の皆さまから、ご意見ございませんでしょうか。

○桑原委員

資料を見させていただき、目標の達成に向けてどう取り組むかということだと思います。温暖化ということになると、生き物をどう守るかという視点も必要かと思っています。この計画の中に生物の保全というものは対象になるのかどうか気がなりました。私は、夏場になると自然観察指導員をしている中で会報をいただき、それを読むと 2030 年度までに既存の自然保護区をさらに 10% 広げていかないといけないという話も聞きます。そういった部分もこの計画の中に入るのかなと思いを発言させていただきました。

○余村環境エネルギー部次長

前回の審議会でも桑原委員からは、生物多様性などについてご意見をいただいたと思います。ご意見のあった自然保護区の話などは、現時点で計画に盛り込んでおられません。そういったことも、盛り込んでいきたいとは思っていますので、検討させていただきます。

○松本会長

前回は話がでたかもしれませんが、環境省などでは「30by30」に取り組んでいます。生物多様性が環境を支える一つの決め手になるので幅広く見ていきなさいということです。今回の計画は、エ

エネルギーなどに関するものが多く、生物などに関する内容をどこまで計画に含めるかという側面はありますが、計画を作る上で意識する必要があると思います。参考などとして、含めないといけないかと思っています。

○藤原委員

気になったのですが、今後、新しい住宅がどれだけ建つかを予測されていますか。長いスパンで見ると、削減に向けて住宅との関わり方は重要だと思います。今ある住宅の性能を高めることは理解できますが、若い世代は新しく家を建てる方も多いですし、建て替えなどされる方もあると思いますがそのようなデータはありますか。

○余村環境エネルギー部次長

今後、どれだけ住宅が建つかということでしたが、こちらでデータは持っていません。今回の計画では、住宅の二重サッシや複製ガラスの設置割合を成果指標として掲げています。なお、この住宅数の中に新築住宅も含まれています。また、国が二重サッシにする場合の補助制度を設けており、それらを踏まえながら成果目標値を設定したいと考えています。

○松本会長

ありがとうございました。私の方から一点よろしいでしょうか。

排出量の直近のデータが 2020 年のものになっていますが、2021 年の排出量の数値はありませんでしょうか。

○余村環境エネルギー部次長

公表されているデータのうち、2020 年の数値が最新でして、2021 年の数値についてはこちらでは把握できておりません。

○松本会長

今のところ、順調に排出量が下がっているようですが、事務事業編では 2021 年に排出量が増えていたので、区域施策編の数値も同様に増加するのではないかと思います。

○岡崎委員

松江市の現況データとして、11 ページに産業分類別のグラフがありますが、恐らく令和 3 年のデータだと思いますが、いつのデータなのか記載がないので追記した方が良いと思います。他にも記載漏れがあったと思いますので、また確認していただければと思います。それと、今回の資料ですが送っていただいてから見ましたが、非常に良くできているなと思いました。きちんと、用語の説明が書かれているので、誰が読んでもある程度分かる内容になっていると思います。ただ、14 ページに、Feed-in-Tariff のことだと思いますが、FIT と記載があります。これだけ用語の説明

がなかったと思いますので、追加していただければなと思います。他がけっこう丁寧に説明がされていたので、是非お願いします。全体の内容としては、分かりやいと思います。

○松本会長

データの年度について、追記をお願いします。それと、計画書については見やすくなっていると思います。私も 20 年ほど前からこの計画に関わってきましたが、やはり見やすく直感的に分かりやすくということであれば、岡崎委員と同じで見やすくなっていると思います。最終的には用語編を付けることになると思いますが、先ほどの FIT については注釈を入れていただければと思います。

○余村環境エネルギー部次長

ご意見いただいた FIT もそうですし、計画の中には、分かりやすくするための工夫としてコラムを入れて色々な説明文を加えています。昨年度、策定した「松江市再生可能エネルギービジョン」でも、同様にコラムなども入れており、今回も見やすい計画にしようと思っています。ご指摘いただいた箇所については修正いたします。

○松本会長

上定市長もビジュアルは気にされているポイントだと思いますので、事務局の方でも色々と工夫していただいております。引き続き対応をよろしくお願いします。

○赤川委員

全体的には分かりやすいと思いますが、けっこうボリュームがあると思います。この計画書は冊子にされるのでしょうか。

○余村環境エネルギー部次長

地球温暖化防止の観点から、紙の削減にも取り組んでおり、冊子にするのかデータとして公表するだけにするのは検討中です。

○赤川委員

仮に冊子にした場合、市民一人一人に配るのですか。

○余村環境エネルギー部次長

市民全員に配布する予定はありません。

○赤川委員

では、この計画は誰が見るものなのですか。

○余村環境エネルギー一部次長

市民の皆さんに見ていただくもので、ホームページで公表します。また、出前講座や学校での授業で使いますし、策定後は市報に載せて、ホームページにアクセスできるよう QR コードを付けて市民の皆さんにお知らせします。概要版も作成する予定です。

○赤川委員

一般の主婦感覚でいうと、けっこうボリュームもあるので、実際の生活の中で何か行動するには、どうしたら良いのか、どこを見たら良いのかなと思って見ていました。

○余村環境エネルギー一部次長

後ほど、説明する第3章のところで、市民や事業者の皆さんに、何に取り組んでほしいのか、一緒にどんなことをしてほしいのかを記載しています。まつえ環境市民会議と連携して、色々な啓発活動などにも取り組んでおり、それらの取り組みを知ってもらい、皆さんに参加してもらいたいと思っています。今、説明した第2章の削減目標などの数字を達成するために、何をすべきかが一番のポイントになると思っています。

○松本会長

松江市の総合計画もイラストを使った概要版もホームページにアップされていますよね。数日前に市報が皆さんの元にも届いていると思いますが、その中で脱炭素や SDGs について一人一人が何をすれば良いのかをイラストなどを使って表現しています。今回は数字などが入ったりもするので、ボリュームはある程度増えると思います。前回の計画も同じくらいのボリュームになっていると思いますが、ホームページで公表し見たい人は見ることができるようになっています。一方で、内容を集約した概要版も作成しました。今回も概要版は必要だと思いますし、赤川委員がイメージされているようにイラストなどを使ってまとめていくことになるかと思います。

○赤川委員

子どもがいるお母さんなどは冊子を見る暇はないと思いますし、この計画書とは別のものになるかもしれませんが、わかりやすいのとは別に目に付きやすい、すぐ見ることができるものも必要になるのかなと思います。私は全て読みましたが、中々省略できるページもなさそうですね。お金をかけずに、普段の生活の中で取り組むことができるものが分かるようにできれば良いと思います。

○松本会長

計画自体は深い内容も含まれていますので、ボリュームは増えますが、家庭でできる取り組みなどを抜粋したものを配布しても良いかもしれませんね。

○赤川委員

普段、忙しく生活をされている方はこの計画書全てを見ることは難しいと思いますので、何か集約したものがあればなと思います。

○松本会長

本日は欠席ですが、河原委員からもわかりやすい冊子の話がありましたね。

○余村環境エネルギー部次長

河原委員からは、ごみの分別に関する冊子がわかりやすいとご意見をいただいていたいました。計画についても同様に、読み物として皆さんに読んでいただける物としたいと思っています。

○松本会長

先々週、上定市長と新羅慎二さんと大学生 2 名でトークセッションをしました。この大学生のうち 1 人が河原委員でした。松江市が 2030 年に向けたどのような未来を描いているのかということ、ごみの出し方、分別などについてお話されていました。他の自治体に比べて、細かく分別されているなど面白い話もたくさんありました。もっと市民全体の気運を高めるためのものも必要かなと思いました。

○桑原委員

計画書の 15 ページの図は島根県全体の数値でしょうか。それとも、松江市の数値でしょうか。

○余村環境エネルギー部次長

これは、松江市域からの排出量の数値になります。

○桑原委員

業務その他部門からの排出量の数値と先ほど説明があった事務事業編の数値が違うような気がします。いかがでしょうか。

○余村環境エネルギー部次長

今見ていただいている、区域施策編は松江市の市域全体からの排出量の数値であり、事務事業編は市役所が管理する公共施設からの排出量になりますので数値は同じにはなりません。

○松本会長

最初に確認すれば良かったですが、事務事業編は市役所が管理する公共施設からの排出量ということですね。

○石倉環境政策係長

消防、水道施設、市営バス、本庁舎など松江市役所に関わるものを一つの事業所と考えてもらえればと思います。

○松本会長

ありがとうございました。それでは次に進みたいと思います。第3章について、事務局より説明をお願いします。

<議題2について、資料2-1(第3章部分)を用いて以下の項目を説明>

・第3章では、基本方針と取り組みの内容を記載。(6つの基本方針と10のActionを設定)

○松本会長

ありがとうございました。実際に取り組む項目を設定してもらい、それぞれの内容を示していただきました。コラムも入れていただいたりしているので、読みやすくなっていると思います。ただ、かなりボリュームがありましたので、今回全ての意見は難しいと思いますので、次回までに各自で読んで何かあれば環境エネルギー課さんの方にご連絡していただくようにお願いします。今の時点でご意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。

○藤原委員

内容を見ると、木を植えるという内容が抜けているような気がします。基本方針5のところで、木がCO₂を吸収するということも書かれていますし、重要な内容なので書くべきだと思います。

○松本会長

グリーンカーボンについては、記載がありますね。ただ、前回の計画では森林に関する成果指標もあったと記憶していますが、事務局いかがでしょうか。

○余村環境エネルギー部次長

桑原委員からお話のあった、生物多様性や森林の話は現時点で計画の内容から抜けています。将来的に目指している、CO₂排出量の実質ゼロに向けては関連のある内容だと思いますので、追記したいと思います。なお、会長からお話のあったように前計画では、緑の森再生事業の植林面積を成果指標としておりましたが、計画期間の途中で事業が終わったため、今回の計画では記載しておりません。

○松本会長

もりふれ倶楽部さんなど、森林に関する活動をされているところもあると思いますので、参考にさせていただければと思います。

○藤原委員

一点、ご質問なのですが、市有林がありますよね。切って活用された方が良いような木が多くあると思います。市の財産であるので、取り組まれてはどうか。

○余村環境エネルギー一部次長

こちらが担当部署では無いですが、全体としてあまり管理ができていない状況だと思います。森林環境譲与税も付いていますし、色々な民間団体から市有林を使いたいという意見もあがってきていると聞いています。森林管理は災害面でも重要ですし、関係部署と話をして次回の審議会でご回答できればと思っています。

○松本会長

城山公園など上手く活動として取り組まれているところもありますが、関係団体との関係性もあるので、よろしくお願いします。

○佐藤副会長

中には、QRコードも入れられており良いなと思いました。ただ、「オール松江市」で取り組むというのは、計画をみるとわかりますが、「オール松江市役所」という考え方にするとどうでしょうか。恐らく、部署ごとに事業分野があると思いますが、それぞれが事業者や市民からの相談窓口になると思います。すべての内容を環境エネルギー一部で把握、対応するのは無理なので、各部署と連携することが重要になると思います。すぐには難しいかもしれませんが、「オール松江市役所」でがんばるということも非常に大切だと思い、発言しました。

○松本会長

確かに、分野別でわかるようになれば良いですね。様々な分野で環境に配慮した取り組みが進められていると思います。

まつえ環境市民会議は佐藤副会長のもと、色々な取り組みがされていますが、キャンドルナイトもありましたよね。七夕の日に電気を消して、キャンドルを置いて星を見ながら家族団らんする。そこで、家族の会話が生まれるような機会にもなり、節電にもなると思います。環境以外の効果も生まれて良い取り組みだと思いますので、市民の心に響くのではないかと私は思っています。今よりもページ数をたくさん増やしたくはないですが、こういった取り組みやSDGsのアドバイザー、ACT NOWなどもコラムで入れられないかなとも思います。他、カーボンは悪く言われることが多いですが、植物などにとって、カーボンは必要なもので、多すぎるから問題であることを知らない方も多いかと思います。そういったことをSDGsアドバイザーの川久保先生や私からお伝えすべきかと思っています。佐藤副会長からあった分野別の話、赤川委員からあった、女性目線についての話もコラムであっても良いかもしれません。入れたい内容は色々ありますが、ページ数が増える

ことを考えると、悩みどころですね。

他、ございませんでしょうか。

○松浦委員

私は普段、子どもから教えてもらうことも実はあつたりするので、教育現場の取り組みも大切かなと思います。今は子どもでも将来的には大人になって主体的に行動する立場になる訳ですし、教育は大切なのかなと思っています。そういった視点があっても良いかなと思っています。

○松本会長

まさにそうですね。親子あるいは、祖父母と孫で学ぶことが大切だと思っています。例えば、松江城で環境学習もしていますよね。また、食品ロスに関する啓発動画も作り YouTube で公開していますのでご覧いただければと思います。

時間が少なくなってきましたが、他意見ございませんでしょうか。

○岡崎委員

計画の中に、CO₂ 排出量はバスや電車に乗るより自家用車の方が多いたことが書いてありました。あまり関係無いかもかもしれませんが、市としてICカード決済に対応しているバスなど、どのくらいありますでしょうか。仕事上、オーストラリアやデンマークに行ったことがあります。ICカードで電車やバスだけでなく水上バスなどにも乗ることができたので、かなり進んでいるなと思っています。それは、オーストラリアのブリスベンでのことでしたが、ICカードが色々な所で使えると小銭を準備する手間も減りますし、乗る方のストレスも減ると思います。小銭の使用を禁止している例もあったと思います。今松江市ではこのような状況だよ、これだけ導入しているよというのがコラムでも、一言でも示せると良いかなと思いました。ただ、ページ数を増やすことになるのでどうですかね。私はバスの利用はとても大切だと思っており、もっと重要であることがわかるように表現できると良いと思います。難しいかもしれませんがご検討いただければと思います。

○松本会長

交通系 IC カードが使えるようになり、バスカードが廃止になりますよね。確かに便利になっていると思います。

○岡崎委員

私はたまにしか乗らないので、小銭で支払っています。

○赤川委員

私はいつもバスで移動しますが、ほとんど人が交通系 IC カードを使っています。高齢者は IC カードを使っている人が多い一方で、若い人はたまにしか乗らないので小銭で支払う人が多いです。

○石倉環境政策係長

私もバスで移動しますが、「ICOCA」を使っています。市営バスだけでなく一畑バスでも使えると思います。

○赤川委員

交通系 IC カードは県外でも使えて便利ですね。

○松本会長

「Suica」も使えますよね。

○岡崎委員

色々使えるようですし、もっと周知しても良いかなと思います。私のような普段乗り慣れていないような者からすると、とりあえず小銭で支払っている状況ですので知りたい情報かなと思います。久々に乗る人は分からないと思うので広く周知してほしいです。

○松本会長

交通も非常に関連が深い分野だと思いますので、ぜひ検討していただきたいと思います。繰り返しますが、かなりボリュームがあるのでまたゆっくりと見ていただきたいと思います。他、いかがでしょうか。

○藤原委員

今、食用油の回収はされていないですか。

○余村環境エネルギー一部次長

今は行っておりません。持続可能な航空燃料、SAF の取り合いが始まっており、国はアクションプランを作って各自治体の方にも話がくるようなことも伺っています。

○藤原委員

今、計画の中には記載されていませんよね。

○余村環境エネルギー一部次長

記載していません。本日、ご意見いただきましたので、国の状況なども確認して、計画に記載するかどうか検討させていただきます。

○松本会長

ありがとうございました。それでは、最後の第4章の説明をお願いします。

<議題2について、資料2-1(第4章部分)を用いて以下の項目を説明>

・第4章では、計画の推進体制・進行管理について記載。

○松本会長

ありがとうございました。前回の計画ベースで一部修正をかけたということでご説明いただきました。

一点、私の方から推進体制イメージ図の中に、松江市と書いてありますが、その下に消防、水道局など少し名前を入れてもよいかと本日の審議会を踏まえて思ったところです。

○松浦委員

松本会長も私も島根県環境審議会で委員をしていますが、島根県の取り組みは他と比べてあまり進んでいないかなと思っています。鳥取県などは積極的に取り組まれています。松江市と島根県の連携状況、関わり方はどのようになっていますか。

○余村環境エネルギー部次長

十数年前には、島根県がリーダーシップをとって、地球温暖化対策に関する会議が頻繁に開催されていたように思います。最近では、会議が開かれなくなり、連携はほとんどできていない状況です。今後は、島根県と連携しないと事業が進まない部分もあると思いますので、市から働きかけをしないといけないと思っている所です。他市町村では雲南市さんも熱心に取り組んでおられます。

○松本会長

是非、連携を図っていただければと思います。他、いかがでしょうか。

○岡崎委員

最後のページのイメージの図の中に「⑦計画の見直しについて答申」とありますが、上の説明文の所に説明文が無いような気がします。それと、同じページの文章中の⑤については、「松江市生活環境保全推進員」と「しまねエコライフサポーター」が意見交換会をするということでしょうか。それとも、松江市さんと「松江市生活環境保全推進員」「しまねエコライフサポーター」が意見交換会をするということでしょうか。

○余村環境エネルギー部次長

確認させていただきます。

○松本会長

最後のページの文章部分は、主語である松江市が抜けているような気がしますので修正をお願いします。他、意見ございませんでしょうか。

<一同、意見なし>

ありがとうございました。それでは、本日の議題は以上になりますので進行を事務局にお返しします。

○石倉環境政策係長

委員の皆さま、ありがとうございました。次回審議会の開催につきましては、7月下旬を予定しております。後日改めて、ご都合をお伺いしますので、スケジュール調整をお願いいたします。

それでは、以上を持ちまして令和5年度第3回松江市生活環境保全審議会を閉会いたします。本日はご出席いただきありがとうございました。